

## 知床の世界自然遺産登録とトイレ問題

村上 隆広（斜里町役場環境保全課自然保護係）

### 1. 世界自然遺産への登録

\* H17年7月に南アフリカで開催された世界遺産委員会で知床の遺産登録が決定した。

\* 知床の評価（登録理由）

①生態系：知床は、北半球で最も低緯度に位置する季節海氷域であり、季節海氷の形成による影響を大きく受け、特異な生態系の生産性が見られるとともに、海洋生態系と陸上生態系の相互関係の顕著な見本である。

②生物多様性：知床は多くの海洋性及び陸上性の種にとって特に重要であり、シマフクロウやシレットコスミレなどの希少種が含まれる。サケ科魚類、トドや鯨類などの海棲哺乳類にとって世界的に重要である。

\* 地域の自然保護の取り組み

上記のほかに、地域の自然保護に対する取り組みも高く評価された。

- ・しれとこ100平方メートル運動（S52～）：ナショナル・トラスト運動による開拓跡地の買い取りと植林運動。寄付が目標金額に達したH9からは100平方メートル運動の森・トラストを開始し、森林生態系の復元をめざしている。
- ・野生動物保護管理対策（S63にしれとこ管理財団〔現在の知床財団〕が設置されてから本格化）：ヒグマやエゾシカを中心とした野生動物の保護管理活動、調査研究を実施。
- ・自動車利用適正化対策（H11～）：知床五湖以先の交通渋滞改善のために開始。利用者にも地域にも定着している。

\* 遺産登録前後の変化

- ・夏期～秋期の観光客入込み数がH16年度に比べて約17%増加した。
- ・登山客は近年増加傾向にあるが、H16年とH17年とではほとんど差がない。

### 2. エコツーリズムについて

- ・エコツーリズム：自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかた（環境省定義）。
- ・環境省はエコツーリズムの推進をめざして、H15からエコツーリズム推進会議を設立するとともに、推進事業を開始した。
- ・推進事業のひとつとして、全国13カ所をモデル地区とするモデル事業がある。知床もモデル地区の一つとなっている。
- ・知床エコツーリズム推進協議会では、ガイド技術の向上をめざす取り組みや地域産業と連携したエコツーリズム、滞在型モデルツアーの実施、ガイドラインづくりなどを行っている。

### 3. 知床におけるトイレ問題

- ・ 羅臼岳を含む知床連山では、トイレが羅臼岳の登山口にしかなく携帯トイレへの対応もしていないため、し尿がそのまま排泄されている。とくに、主要な休憩地点付近、野営地では、登山道を少し離れるとトイレトーパーとともに排泄物があちこちに見られる。高山植生や水質への影響が懸念される。
- ・ 世界遺産登録前後で登山客は変化していないが、今後、エコツーリズムの推進などによって登山者が増加する可能性がある。

### 4. 知床国立公園の利用適正化をめぐる動き

#### \* 適正利用基本構想

- ・ 環境省は、知床国立公園における適正な自然の保護と利用を図るため、H13 年度に「知床国立公園適正利用基本構想検討調査」を実施し、検討会が開催された。H14 年 3 月に環境省は「適正利用基本構想」をまとめた。

#### \* 利用適正化基本計画

- ・ 基本構想をふまえ、H14 年度からは環境省が「知床国立公園適正化利用基本計画検討会」を開催している。半島先端部地区（知床岬周辺、H16）と半島中央部地区（五湖、羅臼温泉、知床連山を含む、H17）のそれぞれについて、基本計画が策定された。
- \* 半島中央部の基本計画における登山道の取扱い（環境省自然環境局 2005 を下に作成）
  - ・ 登山道ごとに管理レベルを検討し、当該地の自然環境、自然体験の質に見合った管理を行う。
  - ・ 利用による自然環境への著しい悪影響が懸念される場合は、一定の利用ルールの下でのコントロールされた利用を検討する。
  - ・ 入山カウンター等により、登山者の利用経路や野営地の利用状況、登山道と周辺植生の荒廃状況を把握する。
  - ・ 日帰り登山者には、極力麓で用を済ますことや、登山道沿線の主な休憩場所の付近は避けて排泄場所の分散をはかること、使用済み紙等の持ち帰りを普及・啓発やホームページで周知する。また、携帯トイレの普及及び回収システムを検討する。

### 4. 問題の解決に向けた課題

- ・ 行政組織間の調整が必要・・・環境省、林野庁、北海道、斜里町、羅臼町等
- ・ 登山道途中へのトイレ設置については、耐久性やメンテナンス手法などについて、十分な検討が必要。
- ・ 携帯トイレの普及には、利用者への周知・普及活動や、回収した尿尿をどう処理するかも含めたシステムの確立が必要。

（引用文献）

環境省自然環境局〔東北海道地区自然保護事務所〕（2005）知床国立公園知床半島中央部区利用適正化基本計画, 55pp., 環境省自然環境局東北海道地区自然保護事務所, 釧路.

山のトイレを考えるフォーラム

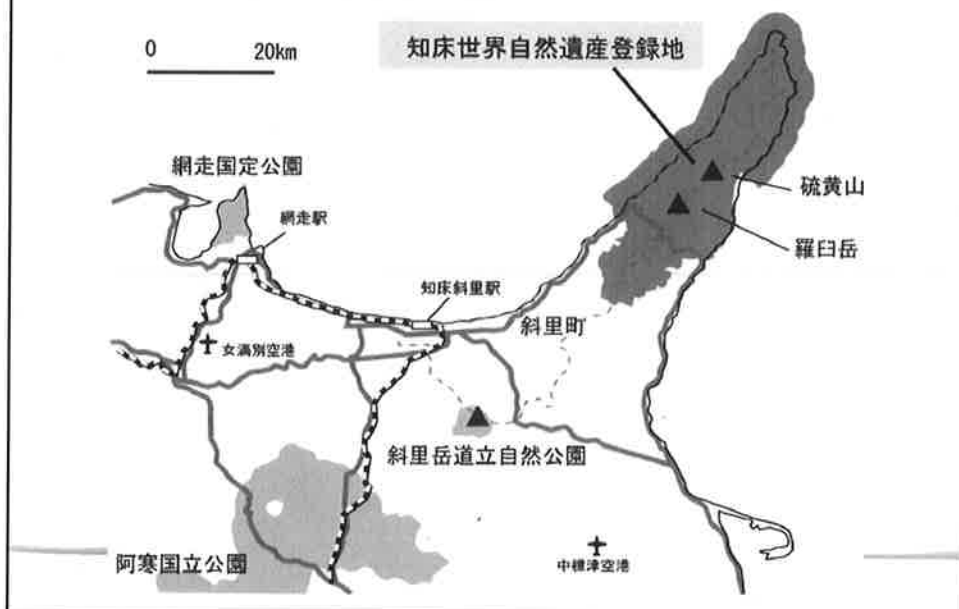
# 世界自然遺産・知床の トイレ問題を考える



平成18年3月4日

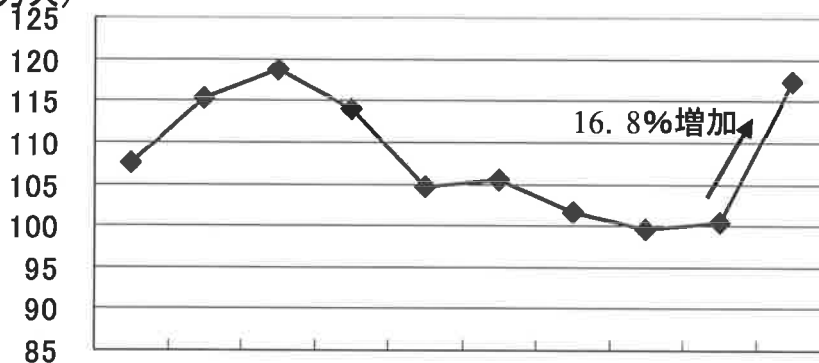
斜里町環境保全課自然保護係 村上隆広

## 知床世界自然遺産登録地



## 観光客数の変化 (7～10月で比較)

入込数  
(万人)



H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17

(知床斜里町観光協会調べ)

## 世界遺産としての課題

(遺産委員会からの勧告、IUCNの評価書)

1. 海域の保護対策について  
→ 海域管理計画を策定
2. サケ科魚類管理計画と河川環境の改善について  
→ 河川環境の調査と魚道の設置等
3. 増加する観光客対策について  
→ エコツーリズムの導入
4. エゾシカの管理について  
→ エゾシカ管理計画の検討
5. 管理のための指標や水準の開発

## 国立公園の利用適正化をめぐる動き

H13…検討開始（基本構想）

①原始性の高い自然景観と多様な生態系の保全

②自然体験機会の適正な提供と持続的な利用

H14…自然公園法改正（利用調整地区制度）

H14～基本計画の検討

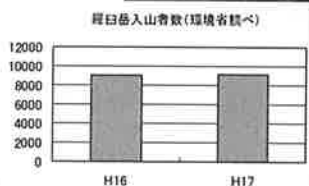
H16…半島先端部地区基本計画を策定

H17…半島中央部地区基本計画を策定

→現在、基本計画具体化に向けて、先端部地区、中央部と議論を進めている。

（利用調整の仕組みやマナーの普及方法など）

## 登山道の状況



環境省ウトロ自然保護官事務所提供

## 半島中央部地区基本計画（H17） での登山道の扱い

- \* 登山道ごとに管理レベルを検討する。
- \* し尿対策について
  - 入山前にトイレに行くこと、排泄場所の分散をはかること、使用済の紙等を持ち帰ることを普及。
  - 携帯トイレの普及及び回収システムを検討。

## 知床連山の登山コース

